

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事		2015年7月27日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府宇治市槇島町十一の161		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） コーデンシ株式会社 代表取締役中嶋郭和
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001	
適用範囲	本社・デバイステクノセンター・コーデンシDH事業所・第三工場	
導入年月日	2002年 9月 25日	
認証番号	01159-2002-AE-KOB-UKAS/JAB 現在は認証機関を変更しておりますので認証番号が異なります。 認証番号：07921-B 審査機関：インターテック・サーフィティケーション(株) 登録日：2014年8月22日	
基本方針	1. 国際標準であるISO14001規格に基づいた環境マネジメントシステムを構築し、汚染の予防と継続的改善に努める。 2. 環境に関する法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。 3. 教育訓練により全従業員の環境管理意識と技術を向上させる。 4. 社内、社外問わず、環境に関する情報交換を積極的に推進する。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	1. 電気、燃料等エネルギー使用量低減。 2. 廃棄物の排出抑制および、リサイクル化の推進。 3. 化学物質等の管理を徹底し大気・河川への排出および流出の予防。	
目標を達成するための取組の内容	京都地区温室効果ガスCO2換算排出量 ・生産移管によるウエハ枚数20%削減 ・ウエハロス率低減（目標ロス率：8%） ・冷熱源機器更新による省エネルギー化（冷凍機、ボイラ） 全社電力使用量 ・生産閑散期での余剰設備立ち下げ ・照明間仕切り ・室外機遮光カーテン・スプリンクラー設置 ・クールビズ実施による空調使用抑制 ・デマンドシステムの活用 ・冷熱源機器更新による省エネルギー化（冷凍機、ボイラ） 社用車ガソリン使用量/売上100万円 ・エコカー導入 ・燃費に合わせた社用車選択	
目標を達成するための取組の進捗状況	京都地区温室効果ガスCO2換算排出量：ボイラー供給水プレ加熱用熱交換器導入検討中。 特別管理産業廃棄物/1000chip：歩留まり改善活動実施中。 全社電力使用量：節電及びエネルギー効率的活用実施中。 全社年間電力使用量/1000chip：ウエハロス率低減活動実施中。 社用車ガソリン使用量/売上100万円：エコカー随時導入中。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	各種省エネ活動および処理効率の高いガスを使用する設備を中心に稼働させたことにより、昨年度よりも温室効果ガス排出量は削減できたが、原子力発電所等の関係で関西電力のCO2換算値が上昇したことにより、目標は達成できなかった。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	京都府庁への関連法規（水質汚濁防止法、大気汚染防止法）に関わる測定結果の定期報告を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価、見直しの必要性については、1年に1回行っている。2015年度は同一のシステムで運用されるが、目標達成の為、下記のように取組事項を変更していく。 1. 冷熱源機器更新による省エネルギー化（対象機器：冷凍機、ボイラ） 2. 節電及びエネルギー効率的活用 3. エコカー導入 4. 歩留まり改善	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。